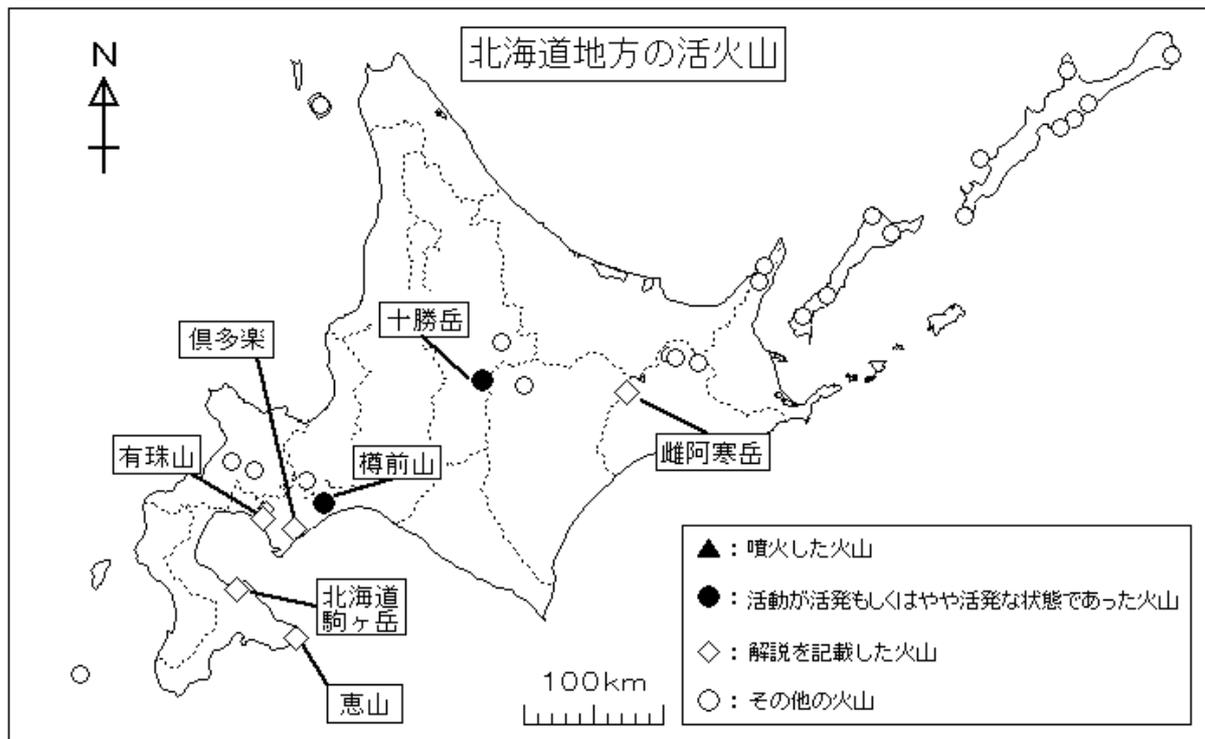


北海道地方の火山活動解説資料（平成 18 年 1 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



1月の北海道内の火山活動は先月と比べて変化はなく、十勝岳、樽前山ではやや活発な状態が続いています。

◇雌阿寒岳 [比較的静穏な状況]

噴煙の状況に変化はなく、火山活動は比較的静穏な状態となっています。

●十勝岳 [やや活発な状況]

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

●樽前山 [やや活発な状況]

A火口及びB噴気孔群の噴煙の状況に変化はみられていないことから、これらの火口の熱的な活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

◇倶多楽 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態が続いています。

◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。

◇恵山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

次の火山活動解説資料（平成 18 年 2 月分）は平成 18 年 3 月 7 日公表の予定です。この資料はホームページでも閲覧することができます（札幌管区气象台 <http://www.sapporo-jma.go.jp> 気象庁 <http://www.jma.go.jp>）。この火山活動解説資料は気象庁の他、北海道のデータも使用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものである。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）